

都市再生整備計画 事後評価シート  
上諏訪・上川流域地区

平成24年3月

長野県 諏訪市

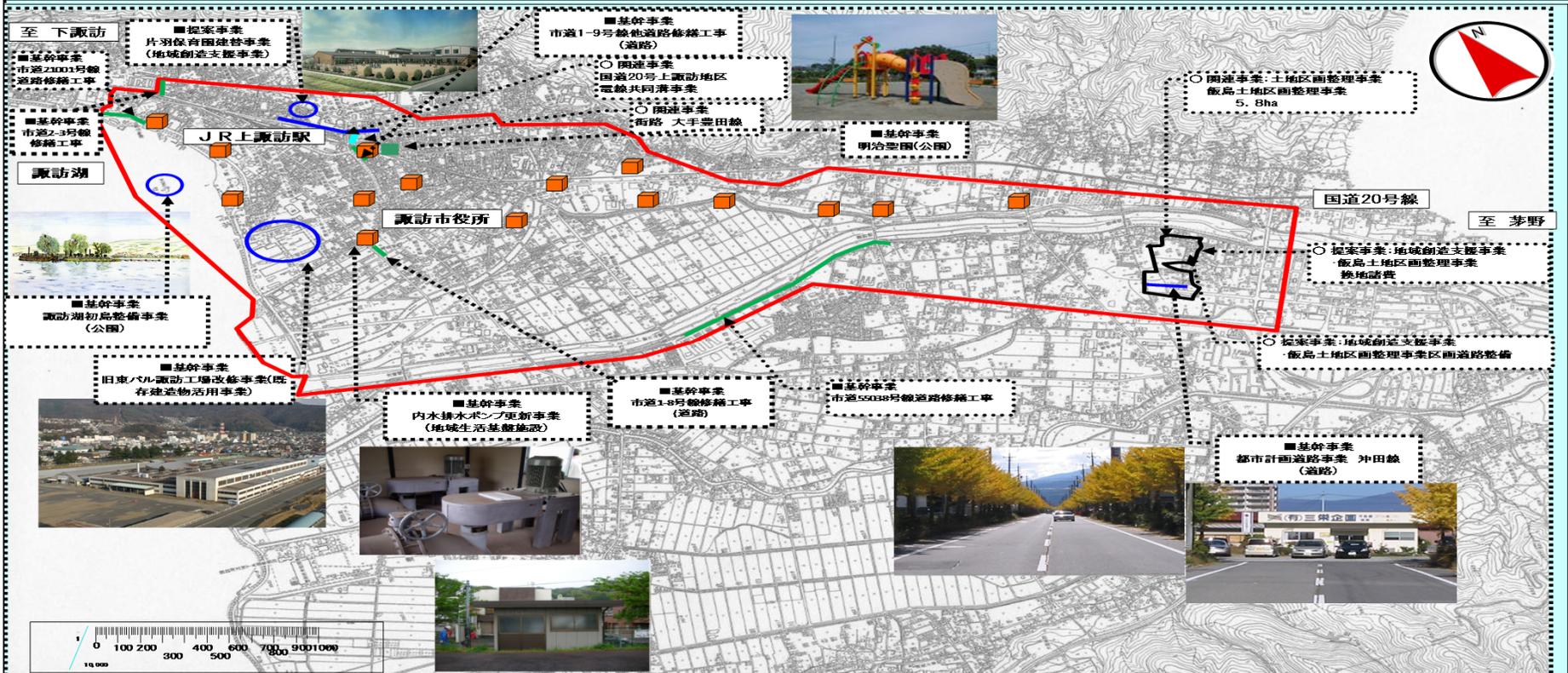
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	諏訪市		地区名	上諏訪・上川流域地区			面積	590.0ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	993.3百万円	国費率	0.375				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路(沖田線、市道55038号線・2-3号線・1-8号線・1-9号線・21001号線)、公園2箇所(明治聖園、初島)、地域生活基盤施設(内水排水ポンプ更新)、既存建造物活用事業(旧東ハル工場跡地改修)									
			提案事業	地域創造支援事業(保育園建替、飯島区画整理事業区画道路事業)									
	当初計画から削除し事業		基幹事業	-		-		-		-			
			提案事業	-		-		-		-			
	新たに追加した事業		基幹事業	-		-		-		-			
			提案事業	-		-		-		-			
交付期間の変更		当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	指標1	災害関連の住民満足度	ポイント	3.36	H18	3.50	H23	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	予定時期	
指標2	安心・安全なまちづくりの住民満足度	ポイント	3.59	H18	3.70	H23		3.21	×	あり	平成25年6月		
指標3	来場者数	人/年	23,100	H17	27,000	H23		25,928	△	あり	平成24年10月		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	その他の数値指標1	諏訪湖方面への観光客数・諏訪湖祭湖上花火大会の観客数	人/年	490,000	H19			500,000			なし		
	その他の数値指標2	建物の浸水被害の発生件数	件/年	1,117	H18			20			なし		
	その他の数値指標3	教育の充実関連の住民満足度	ポイント	3.46	H19			3.50			なし		
その他の数値指標4	都市計画関連の住民満足度	ポイント	3.18	H19			3.22			なし			
4)定性的な効果発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・内水排水ポンプの更新や旧東ハル工場跡地を非常時の救援活動拠点施設として整備することで今後予想される水害の最小化を図り、安全・安心なまちづくりにつながる整備を行った。</li> <li>・飯島区画整理事業、沖田線整備により、本市の定住人口増加につながる生活基盤の整備を行った。</li> <li>・初島をより魅力ある観光資源の1つとするための整備や住民や観光客に通行の不安を与えないよう幹線路の修繕を行うことで、観光地としての魅力を少しでも高めていく整備を行った。</li> </ul>											
5)実施過程の評価	モニタリング		なし	実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	住民参加プロセス		なし	・内水排水ポンプ、旧東ハルの災害時における拠点化についての住民説明会及び意見交換会(H19年7月) ・片羽保育園改築にあたっての住民、保護者説明会及び意見交換会の実施(H18年11月～H19年7月計3回)				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-	
持続的なまちづくり体制の構築		なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-		

## 様式2-2 地区の概要

### 上諏訪・上川流域地区都市再生整備計画の成果概要

都市再生整備計画の目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
<p>大目標：災害に強く誰もが安全・安心で快適に暮らせる賑わいのあるものづくり発祥の地「すわ」の再生</p> <p>目標1：平成18年7月豪雨災害において甚大な被害が出た地域に安全・安心な市民生活ができるよう河川に設置してある内水排水ポンプを更新し浸水被害の軽減を図る。</p> <p>目標2：立地的に諏訪湖に面している旧東バル工場跡地改修を行い非常時の災害救援拠点とする。また、通常時はものづくり発信地として製造業及び観光に資する市民交流施設を創設する。また市街地にあり歴史ある明治聖園の整備改善を行い市民の憩いの空間を創設するとともに非常時には避難所としても活用する。また諏訪湖に浮かぶ唯一の島である初島は観光シーズンには観光客ばかりでなく市民もボートで訪れるが、拡張整備し、憩いの場を創出し、観光振興につなげる。</p> <p>目標3：諏訪の入り口でもある諏訪IC付近の土地区画整理を実施し、都市計画道路・区画道路の造成を行い快適な住空間を創出する。</p> <p>目標4：中央高速諏訪ICと観光スポットである諏訪湖を繋ぐ道路について快適なアクセスを確保するため、さらに市民のより安全・安心な生活環境を維持するための道路補修を行う。</p>	災害関連の住民満足度	単位:ポイント	3.36 H18	3.50 H23	3.33 H23
	安全・安心なまちづくりの住民満足度	単位:ポイント	3.59 H18	3.70 H23	3.21 H23
	来場者数	単位:人/年	23,100 H17	27,000 H23	25,928 H23
	諏訪湖方面への観光客数・諏訪湖祭湖上花火大会の観客数	単位:人/年	490,000 H19	-	500,000 H23
	建物の浸水被害の発生件数	単位:件/年	1,117 H18	-	20 H23
	教育の充実関連の住民満足度	単位:ポイント	3.46 H19	-	3.50 H23
	都市計画関連の住民満足度	単位:ポイント	3.18 H19	-	3.22 H23



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した内水排水ポンプ14箇所15基の更新事業を実施し、豪雨による水害の最小化を図った。</li> <li>・旧東バル工場跡地の非常時の救援活動拠点施設としての整備を完了し、豪雨時の土のう作り・配布場などとして活用している。通常時は諏訪の「ものづくり」発信地として「諏訪圏工業メッセ」を開催し、諏訪ブランドを全国に発信している。</li> <li>・明治聖園について、明治天皇の来訪という歴史的資料としての石碑を整理・再配置し公園の核とするとともに、スロープを整備し、商店街と街路と公園が融合した交流空間とした。</li> <li>・初島においてボートパークを造成しレジャー施設や植栽等を行い市民や観光客がゆったり憩えるようにした。また、ボートを安全に着岸できるような棧橋を整備し、より魅力ある観光資源の1つとして位置付けた。</li> <li>・平成18年の災害により倒壊した片羽保育園を再建し幼児教育の充実を図った。</li> <li>・飯島区画整理事業について、河川の溢水や住宅開発の虫食いを防止し、当該地区の健全な発展に資する整備を行った。</li> <li>・住民や観光客に不安を与えないよう諏訪湖を中心とする観光地と諏訪ICを結ぶ幹線路の修繕を行った。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備について、面的に道路機能を向上させる取り組みを進める。</li> <li>・未改修河川の着手等、更新した内水排水ポンプをより効率的に機能させるための施策を講じていく。</li> <li>・本市は、東海地震防災対策強化地域に指定されるとともに、糸川川-静岡構道線上に位置していることから震災時に大きな被害が想定される。橋梁や公共施設、住宅等の耐震化の推進、液状化についての調査等の対策を講じ、安全・安心なまちづくりをさらに進める。</li> </ul>